

平成 14 年 7 月 31 日 発行

千環協ニュース

主 な 内 容

はじめに. 千環協ってなあに？

1. 平成 14 年度 (第 26 回) 通常総会
2. 平成 14 年度役員紹介
3. 新会員紹介
4. 平成 14 年度 合同委員会
5. 理事会報告
6. 活動レポート 第 35 回千環協ゴルフコンペ
7. 活動レポート 平成 14 年度研修見学会
8. 活動レポート 平成 14 年度新任者教育講座
9. 特集 土壌汚染対策法が公布
10. 寄稿 自然からみえる環境について
11. 会員名簿
編集後記

千葉県環境計量協会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association

目 次

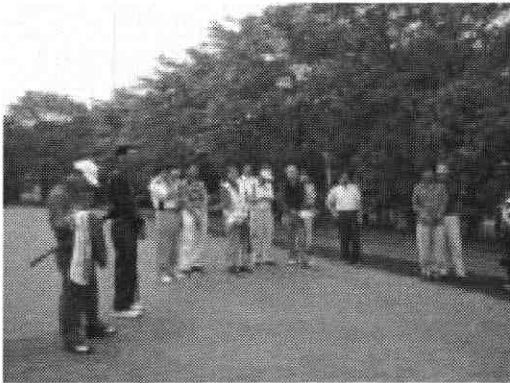
頁

はじめに、千環協ってなあに？	1
1. 平成14年度（第26回）通常総会	5
1-1.総会挨拶（会長 名取 昭平）	5
1-2.来賓挨拶（千葉県計量検定所 所長 小野 俊一）	6
1-3.新会長就任挨拶（新会長 津上 昌平）	7
1-4.平成14年度（第26回）通常総会報告	8
1-5.事業計画	10
2. 平成14年度役員紹介	11
3. 新会員紹介	13
3-1.成和産業(株)	13
3-2.日鐵テクノ(株)	14
3-3.(株)コスモス	16
4. 平成14年度 合同委員会	17
4-1.会長挨拶（会長 津上 昌平）	17
4-2.来賓挨拶（千葉県計量検定所 指導課長 山田 保）	18
4-3.通達事項ー平成14年度計量証明検査結果についてー （千葉県計量検定所 指導課 石渡 康幸）	19
4-4.担当委員一覧及び委員会別活動計画	20
5. 理事会報告	23
6. 活動レポート 第35回千環協ゴルフコンペ 驚きの優勝？（(株)ダイワ 千葉支店 宮沢 康弘）	24
7. 活動レポート 平成14年度研修見学会（(株)東海地質 初瀬川 弘美）	26
8. 活動レポート 平成14年度新任者教育講座 平成14年度新任者教育講座を終えて（(株)環境管理センター 加藤 礼明）	28
9. 特集 土壌汚染対策法が公布（習和産業(株) 吉野 昭仁）	30
10. 寄稿 自然からみえる環境について（イカリ消毒(株) 萬代 裕介）	32
11. 会員名簿	34
編集後記	巻末

千環協ってなあに？

昭和51年6月25日に発足した千環協（千葉県環境計量協会）。今年で27年目となります。

ここでは、協会の活動内容の紹介を、熱心な協会活動のあまり（？）、つい、自分の誕生日に帰りが遅くなってしまった千環協会員（千一さん）とその娘さん（葉子ちゃん）の朝の会話の形式で千環協の活動内容を紹介してみました。



ゴルフコンパ風景



合同委員会風景

— 父（千一氏）と子（葉子ちゃん）のある朝の会話・・・ —

葉子： お父さん、夕べも千環協とか言って遅かったね。また、どこかでお酒飲んでいたのでしょ。

お父さんのお誕生日だからお祝いしてあげようと思って眠いのを我慢して起きていたけど余り遅いので眠ってしまったわ。一体千環協って何なの？

千一： ゴメン、ゴメン。「千環協」というのは正式には「千葉県環境計量協会」といってね「計量証明事業者」で作っている任意団体なんだよ。

葉子： フーン。何だか良く分からないわ。

千一： あのねえ、葉子ちゃんも光化学スモッグや猛毒のダイオキシン類と言う言葉は聞いたことあるでしょ。

それらを分析できる会社の事を「計量証明事業者」と言うんだよ。それらの分析結果を役所や民間企業に報告して環境保全の一躍をになう大変大事な仕事をしている会社なんだよ。

葉子： では、その分析は誰が行っても良いの？

千一： そうは行かないんだよ。環境分析結果と言うのはそれを基に役所や民間が施策をするわけだから誰が行っても良いと言う訳には行かないんだよ。人の健康や動植物の生態系に直接影響を与えるからね。非常に大切で、しかも難しいんだよ。

葉子： ますます、分からなくなったわ。

千一： 計量法という法律があってね、分析結果が正しいかどうかを見る能力のある人（環境計量士：経済産業大臣が行う大変難しい国家試験合格者（文末：環境計量士について 参照））が居ること、pH計やガスクロマトグラフ分析計といった一定の分析設備を持っている会社にのみ「計量証明事業者」としての資格を都道府県知事が与えることができるんだ。

葉子： 計量証明事業者ならば誰でも千環協の会員になれるの？

千一： そうではないんだ。入会希望があったら理事会で厳正な審査を行い、良心的な事業者にのみ入会を許可するんだよ。

葉子ちゃんだって、昔テストで一回百点とったからといって、満足しちゃって、そのあと授業を形だけ聞いていたり、自分で色んな本を読んで勉強しなかったらどんどん遅れていってしまうでしょう？千環協に入るためには、計量証明事業者であるだけじゃダメで、事業者として、常に「精度良い環境計量を行なう。」という取り組み、姿勢が求められるんだ。

だから、千環協の会員というのは信頼できる事業者と言うことを担保されているようなものでありまた、名誉でもあるんだ。

葉子： 千環協会員って立派なんだね。

千一： 確かにそうなんだけど千環協だけで活動していたら「井の中の蛙」になる可能性があるんだ。従って（社）日本環境測定分析協会や首都圏環境計量協議会連絡会（東京、神奈川、埼玉、千葉で構成）とも連携して常に最新の情報を得て仕事に活かしているんだよ。

葉子： そうなの。少し分かってきたわ。

千一： そういった計量証明事業者の団体が各都道府県にありそれが千葉県の場合「千環協」と言うわけだよ。現在は73社が加盟しているんだ。

葉子： でも千環協の会議の日にはいつもお酒を飲んで帰るけど、その為の団体なの？

千一： イヤー、葉子ちゃんにはマイッタネ。「千葉県環境計量協会規約」というのが有ってね、その中には“(1)：計量証明事業の進歩・改善に関すること”、“(2)：環境計量の分析技術の向上に関すること”、“(3)：環境計量に関する教育・訓練・指導に関すること……等”の事業を行うことが明記されてて、会員間でクロスチェックといって精度管理のテストみたいなものをしたり、最新の技術事例の発表とかをやったり、みんなで、精度向上の為の技術研鑽をしているんだ。

葉子： で、どうしてお酒を飲むの？

千一： 葉子ちゃんのクラスだって、“お楽しみ会”や“林間学校”なんかで、勉強から離れた場で、お友達と“クラスのこと”とか“勉強のやりかた”とかを話すで

しよ。千環協でも、机に座ってのマジメな会議だけじゃ色々な細かい問題点が見えてこないから、時々はお酒を飲んで会員のみんなが実際に抱えている問題点や、これからの協会としての取り組みをどうしていくのか話し合っ、良い人間関係を作ったりしているわけさ。

葉子： だんだん分かってきたわ。
ところで、千環協の会員は全部「計量証明事業者」なの？

千一： そうではないんだ。「計量証明」これを分析と言っても良いのだけどね。分析を行うためには全体を代表するような試料を取ること（サンプリング）が大切なんだよ。

水や空気のようないわゆる流体のサンプリングはどこの計量証明事業者でも出来るんだ。ところが土壌となるとそうは行かないんだよ。個体のため代表的な試料を取ることが困難であるし場合によっては深い所からのサンプリング（ボーリング）が必要なこともあるんだ。

そうすると計量証明事業者では不可能な所もあるわけだ。その場合、サンプリングを得意とした事業者に依頼することになるんだ。

葉子： そうなの、良く分かったわ。千環協って良い会員ばかりで世の中に役立つ良い仕事をしているんだね。

千一： 分かってくれてありがとう。昨夜のお詫びに今度の日曜日に TDL か TDS に連れて行ってあげよう。

葉子： ワーイ、嬉しいな。

・・・・・・・・千環協の設立及び構成のご紹介・・・・・・・・

昭和51年6月25日に設立され、千葉県知事に環境計量証明事業の登録をした7事業所により発足し構成会員は平成14年7月現在、正会員70事業所、賛助会員3事業所となっております。（巻末会員名簿参照）

正会員の登録区分別事業所数				
濃 度			音 圧（騒音）	振 動・加 速 度
大 気	水 質	土 壌	1 8	1 5
4 2	6 8	5 4	（県外事業所登録含）	（県外事業所登録含）

・・・・・・・・活動内容のご紹介・・・・・・・・

千環協の組織は、六つの委員会から構成され主として下記の事業を実施しております。その活動方法は各委員長の下、全会員がいずれかの委員会に所属し全員参加で進めております。

委員会名	事業内容	
総務委員会	レクリエーション行事の開催・新春講演会の開催	
業務委員会	会員ガイドの発行(会員事業所の設備、実績、登録等の紹介)	
技術委員会	クロスチェックWG	排水等のクロスチェック分析の実施
	精度管理WG	精度管理統一化の推進等の研究実施
	計量管理WG	計量機器管理の検討の実施
企画委員会	研修見学会の実施・実務者パネルディスカッションの開催	
広報委員会	会誌(千環協ニュース)の発行・各種情報の提供	
経営問題懇談会	新任者教育の実施・経営に関する勉強会等の開催	

(参考) 環境計量士について

環境計量士は経済産業省(旧通産省)の所管する環境計量に係る国家資格。計量証明事業所(計量証明を業とする事業者)には、必ず環境計量士をおくことが求められています。

現在は、大気・水質・土壌の分析等の“濃度関係”と騒音・振動加速度レベル等の“騒音・振動関係”の分野に分かれています。

各回の合格率(合格者数/願書提出者数)は10%前後と低く、難しい国家資格といえます。

回数	願書提出者数	合格者数	合格率	回数	分野	願書提出者数	合格者数	合格率
第1回	13,586	1,270	9.3%	第20回	濃度	2,681	253	9.4%
第2回	9,403	986	10.5%		騒音・振動	708	71	10.0%
第3回	9,759	899	9.2%	第21回	濃度	2,937	240	8.2%
第4回	8,047	642	8.0%		騒音・振動	860	121	14.1%
第5回	6,972	609	8.7%	第22回	濃度	3,469	278	8.0%
第6回	5,789	474	8.2%		騒音・振動	974	132	13.6%
第7回	5,186	443	8.5%	第23回	濃度	3,658	358	9.8%
第8回	4,330	331	7.6%		騒音・振動	991	144	14.5%
第9回	4,103	346	8.4%	第24回	濃度	3,938	271	6.9%
第10回	3,685	265	7.2%		騒音・振動	1,230	164	13.3%
第11回	3,195	286	9.0%	第25回	濃度	4,743	411	8.7%
第12回	2,794	234	8.4%		騒音・振動	1,379	179	13.0%
第13回	2,529	204	8.1%	第26回	濃度	5,946	504	8.5%
第14回	2,366	173	7.3%		騒音・振動	1,526	147	9.6%
第15回	2,198	186	8.5%	第27回	濃度	5,845	474	8.1%
第16回	2,334	190	8.1%		騒音・振動	1,616	217	13.4%
第17回	2,254	206	9.1%	第28回	濃度	7,465	761	10.2%
第18回	2,411	260	10.8%		騒音・振動	1,935	223	11.5%
第19回	2,770	288	10.4%	計		54,671	5,236	9.6%

1. 平成14年度（第26回）通常総会（平成14年年4月19日）

1-1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 名取 昭平



ただいまご紹介頂きました、当協会の会長を務めさせております名取と申します。開会に際しまして一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、ご来賓として、千葉県計量検定所の小野所長様、山田課長様、石渡様のご臨席を賜りまして、厚く御礼申しあげます。また、会員の皆様にも多数お集まり頂きまして、厚く御礼申し上げます。

あいかわらずの景気低迷で、会員各社さんにおかれましては、大変な経営努力をさせておられるものと推察いたします。本年後半には景気は上向いてくることですので、ぜひとも早期の景気回復を期待致したいと存じます。

さて本年度の総会は、任期満了に伴う役員改選期に当たっておりまして、私、会長を、2期と1年の計5年間努めさせていただきましたが、私事で申し訳ありませんが、社内の事情により、本年度をもちまして会長をおりることとさせていただきます。

振りかえってみますと、私、平成元年に、(株)環境管理センターの後藤さんの千環協会長の時に、はじめて理事を担当させて頂き、平成8年には副会長、平成9年には会長をといふことで、計14年間千環協のお手伝いをさせていただきました。

会長職としては何もできませんでしたが、他の理事さんのご協力ならびに会員各社さんの積極的なご参加を頂き、おかげさまで、他の県単の方から、当千環協の活動が大変活発である、とのお褒めの言葉を頂戴いたしましたことが、なによりの宝と喜んでおります。

特に、昨年は日環協関東支部の環境セミナーの開催を担当させていただきまして、千葉の鴨川グランドホテルにて参加者160名以上と、大変盛大に開催いたすことができ、よき思い出とすることができました。開催に際しご協力頂いた役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、後ほど新会長を選任頂きますが、本年4月から新計量法もスタートし、分析技術の深化に、ますます協会活動の重要性が増して、新会長には大変な期待がかかってくるものと存じますが、よろしく願い申し上げます。

21世紀は環境の世紀と言われておりまして、今は不況の真っ只中ですのでそのような実感はまだありませんが、今後必ずや市場が拡大しますので、千環協の会員の皆様が、益々発展されることを祈念致しております。

最後になりまして申し訳ありませんが、私が会長を務めさせていただけたのも、事務局業務を(株)環境管理センターさんのご好意でお引き受け頂いたおかげでありまして、長らくご担当いただいた深名さん、そして昨年来ご担当いただいております後藤千鶴子さんに厚く御礼申し上げます。

それでは以上をもちまして開会挨拶と退任にあたっての御礼をかねましてのご挨拶とさせていただきます。

1-2. 来賓挨拶

千葉県商工労働部
計量検定所
所長 小野 俊一



本日は、千葉県環境計量協会第26回通常総会がこのように盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。

21世紀は環境循環型社会への転換がいわれ、よりいっそうの環境への配慮が求められています。

千葉県環境計量協会の皆様は従来より環境回復に貢献され、その実績を持って、今後、一層の御活躍を御期待いたします。

さて、県では地方が主体性を発揮する時代の到来に併せて、昨年末に「ちば2002年アクションプラン」を策定し、経済的にも文化的にも自立した「千葉主権」の確立を目指す事としていますが、中でも環境問題については、より積極的に対応していることは新聞報道等で御存じのとおりです。

また、計量行政にあっても環境問題の高まりを受けて、極微量物質いわゆるダイオキシン類の計量証明に関して昨年6月計量法が改正され、皆様にはこれらへの対応において現在ご尽力をいただいているところでありますが、私どもも、今後とも情報の収集、提供を心がけ本制度の円滑な実施に勤めることとしていきます。

皆様にはこれらへの対応をはじめ、各般にわたって県計量行政へ御協力をいただき、私どもの業務が支障なく実施できますことは本協会会員皆様の御協力によるものと日頃から感謝致しております。

さらに、計量検定所と致しましては、従来通り、「計量器の精度維持」・「適正計量器の提供」・「計量思想の普及」を柱とした業務を通して、皆様との連携をいただきながら、地域社会の利益・利便の一層の増進に勤めたいと考えていますので、従来に増してよろしくご支援をお願いいたします。

大変長くなりましたが、千葉県環境計量協会が今後とも世界に優れた技術を持ちましますます発展されますこととお集まりの皆様の御繁栄を祈念申し上げます御挨拶と致します。

1-3. 新会長就任挨拶

千葉県環境計量協会
新会長 津上 昌平



只今、皆様方のご承認をいただき前任の名取会長の後を受けて、当協会の会長に就任することになりました、習和産業の津上です。よろしくお願ひいたします。会長就任に当り一言ご挨拶申し上げます。

さて私はご覧の通りまだ若輩者ですが、入社以来 20 年あまり一環して環境計量の仕事に携わってきました。千環協におきましては、技術委員会に所属しクロスチェックWG、計量管理WGの取り纏めを担当させていただきました。また、ここ 2 年ほど新任者向けの教育の講師も担当しております。

先ほど、名取会長から直々にご指名があり、急遽、理事会において理事の方々の承認を頂き、会長に就任させていただくこととなりました。会長としての今後のビジョンはまだ描いてはおりませんが、会員の方々によりメリットのある活動を実践して、千環協の発展に尽力してまいりたいと考えております。会員の皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

1-4. 平成14年度（第26回）通常総会報告

千葉県環境計量協会

1. 開催年月日：平成14年4月19日（金）15:00～16:30
2. 場 所：プラザ菜の花
3. 出席会員：34社（委任状18社） 計52社
4. 会長挨拶：千葉県環境計量協会 名取 昭平 会長
5. 来賓挨拶：千葉県計量検定所 小野 俊一 所長
6. 議 事：(1)第1号議案 平成13年度 事業報告の件
(2)第2号議案 平成13年度 決算報告の件
会計監査報告
(3)第3号議案 役員選出の件
(4)第4号議案 平成14年度 事業計画(案)
(5)第5号議案 平成14年度 収支予算(案)

総会は、キッコーマン(株)川村敏氏の司会で開催され、出席会員の34社、委任状提出18社、合計52社の出席で規約16条により会員数の1/2以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がされた。

- (1) 第1号議案及び第2号議案について、出光興産(株)千葉製油所 岡崎副会長より説明後、会計監査報告を川鉄テクノリサーチ(株)福田監事より審査報告があり、全会一致で承認された。
- (2) 第3号議案について、「議長一任」の意見に基づいて、以下の役員を選出し、全会一致で承認された。

平成14年度新役員は以下のとおり。

- 会 長：津上昌平氏（習和産業(株)）※
副 会 長：藤谷光男氏（中外テクノス(株)）
副 会 長：菅谷光夫氏（(株)ダイワ）
総務委員長：石澤喜博氏（日本軽金属(株)）※
業務委員長：川村敏氏（キッコーマン(株)）
企画委員長：内野洋之氏（(株)新日化環境エンジニアリング）※
技術委員長：蛭子聡氏（(株)住化分析センター）※
広報委員長：田中孝一氏（(株)環境管理センター）
監 事：釜本信弘氏（日建環境テクノス(株)）
監 事：福田文二郎氏（川鉄テクノリサーチ(株)）

※ 印は新任

(3) 第4号議案及び第5号議案について、中外テクノス(株)藤谷副会長より説明後、全会一致で承認された。

(4) 特別表彰

本総会をもってセイコーアイ・テクノサーチ(株)：名取昭平氏、出光興産(株)千葉製油所：岡崎成美氏、(株)住化分析センター：神野基行氏、(株)新日化環境エンジニアリング：大北徹氏が役員を退任されるにあたり、多大の貢献に対し、特別表彰された。

(5) 新会員・新賛助会員紹介

新会員の成和産業(株)、(株)日鐵テクノサーチ及び新賛助会員の(株)コスモスの紹介が行なわれ、成和産業(株)：大手和夫氏より挨拶があった。

以上の内容を全て承認のうえ、第26回通常総会が終了した。

セイコーアイ・テクノサーチ(株)
署名人： 安田 和久 (印)
環境エンジニアリング株式会社
署名人： 守 久雄 (印)

1-4. 平成14年度 事業計画

21世紀は環境の世紀ともいわれており、環境問題への取り組みが企業の成績を左右する等、益々その拡がりを見せてきております。そして、どのような施策を取るにしても、まずは現状の正確な計量がその基礎となり、我々が日々提供している環境計量証明データが、大変重要な役割を担っていることとなります。そして、本年4月1日からは環境計量証明の信頼性に関する社会的ニーズの高まりに対応する為、改正計量法が施行となりました。我々業界団体と致しましても、今後ともより一層の分析技術の向上、分析精度の確保に努力致したいと考えます。このような背景から、次のような事業を行い、会員各社の発展に寄与致したいと思っております。

1. 研修会・講演会等の実施

技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

2. ワーキンググループ・技術事例発表会の実施

技術委員会の下に、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析技術事例の発表会を実施する。

3. 共同実験とパネルディスカッションの実施

会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェックを行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。

4. 情報の収集と提供

官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。

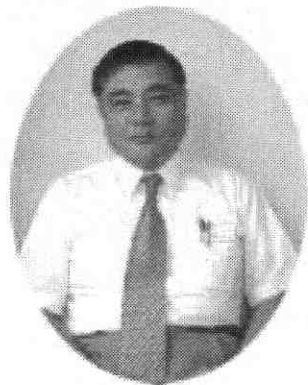
5. 経営問題懇談会

新任者教育、経営に関する勉強会等、開催する。

6. 協力関係

計量協会、日環協、首都圏環協連等の各事業に参画し、技術情報等を収集する。

2. 平成 14 年度役員紹介



会 長：津上 昌平
(習和産業㈱)

昭和 31 年 6 月 27 日 長崎県生まれ

一趣味・特技一

旅行（街歩き、食べ歩き、飲み歩き）、音楽鑑賞、
楽器演奏（トロンボーン）。野球は阪神タイガースファン

一千環協活動に対する抱負一

本年 4 月より、名取前会長と同じ名前（しょうへい）
の好で、会長に就任いたしました。今後、より多くの
会員の方に、千環協の活動に参加していただくと共
に、何でも相談出来る身近な会長となるよう努力した
いと考えております。



副 会 長：菅谷 光夫
(㈱ダイワ)

昭和 32 年 5 月 15 日 千葉県生まれ

一趣味・特技一

ゴルフ・カラオケ（特にカラオケはムード歌謡専攻）

一千環協活動に対する抱負一

副会長として会長をサポートするとともに、経営問
題懇談会の委員長として新任者研修等で協会会員の
新任者の教育にあたっています。

今年は協会活動を更に活発化させ、各行事への会員
参加者を対昨年度比 3 割アップ（及び参加者の男女比
を 1：1）の高い目標にチャレンジします。



副 会 長：藤谷 光男
(中外テクノス㈱)

昭和 23 年 7 月 24 日 山口県生まれ

一趣味・特技一

ゴルフ・野球（社内で、草野球チームをつくり、千
葉ふれあいチーム（30チーム）に参加していま
す。）・カラオケ（?）

一千環協活動に対する抱負一

今期より、副会長に就任しました。大先輩の、菅谷
副会長の指導のもとで、会長を盛り立てるとともに、
協会活動を微力ながらより発展させていきたいと思
います。また、県内自治体に千環協ニュースを通じ、
全会員が技術力向上に日々研鑽していることをご報
告していきます。



総務委員長：石澤 善博
(日本軽金属㈱ 船橋分析センター)

昭和 24 年 12 月 23 日 福島県生まれ

一趣味・特技一

ゴルフ・釣り（川釣り）

一千環協活動に対する抱負一

千環協の総務として協会会員の懇親を深める為の
活動を行なっていきたくて思っております。

行事としては年 2 回のゴルフ大会及びソフトボ
ール大会などです。会員各位の参加を心よりお待ちし
ております。なお、今年はソフトボール大会（11 月 17
日(日)）が第 20 回大会となりますので、よろしく参
加をお願い致します。



業務委員長：飯島 公勇
(キッコーマン(株) 分析センター)

昭和25年7月10日 千葉県生まれ

—趣味・特技—

ゴルフ・スポーツ観戦・映画鑑賞(洋画)

—千環協活動に対する抱負—

今期より、業務委員長に選任され、今迄の協会会員メンバーの一員から大きく変わり責任を感じています。

業務は、「千環協案内」発行が主となりますが、会長及び理事メンバーが大きく変わり、会長をもちたてて更なる協会活動の活性化に努めて行きます。



企画委員長：内野 洋之
(株新日化環境エンジニアリング)

昭和29年8月4日 長崎県生まれ

—趣味・特技—

ゴルフもカラオケも修行中。ワンカップ片手に釣り糸をたれるのが趣味。

—千環協活動に対する抱負—

理事は今回がはじめてです。研修見学会とパネルディスカッションの企画にあたっています。他の理事や会員の皆様に助けていただき次の企画を立案中です。

千環協が会員の役に立ち、また社会にも貢献していけるよう、微力ながら頑張っていくつもりであります。



広報委員長：田中 孝一
(株環境管理センター)

昭和37年11月20日 東京都生まれ

—趣味・特技—

釣り、映画鑑賞、ガーデニング(ただし、根性が無い為、ガーデニングは夏期休業中。庭はピオトープと化している)

—千環協活動に対する抱負—

千環協理事最年少のワカゾウという立場上(?)、広報活動の副業で、千環協の“宴会委員長”も担当しています(“単なるお祭り好き”という声もあります)。千環協ニュースの誌面を通じ、マジメで楽しい千環協をお伝えできたらと考えています。



技術委員長：蛭子 聡
(株住化分析センター 千葉事業所)

昭和29年4月14日 愛知県生まれ

—趣味・特技—

映画鑑賞・合気道

—千環協活動に対する抱負—

技術委員会の理事をこの春仰せつかりました。不慣れなためいろいろと周りの方にご迷惑をおかけしています。

会員のWGへの参加が活発になるよう、また、協会の技術レベルの向上を目指して、WGの活動に積極的に参加していきたいと思っております。

3. 新会員紹介

3-1. 成和産業 株式会社

大手和夫（環境計量士）



所在地：本 社 ☎043-254-2211 FAX043-254-8429

〒260-0045 千葉市中央区弁天 4-5-18

営業所 つくば・茂原・上総

工 場 テクニカルセンター（成和テクニカ）

連絡先：代表取締役社長 入江五左夫 営業部長 渡辺勝利

計量証明事業担当課長 酒井秀幸

業務案内：1. 計量証明事業関係（平成14年3月よりの新規事業です。）

①工場・建設現場・道路・鉄道等の騒音・振動測定（周波数分析・低周波分析を含む）

②騒音・振動に関するコンサルティング業務

③その他環境測定等の業務に関する事項

2. 計測機器等販売事業関係（創業30年の豊富な経験があります。）

計測機器、電子機器、各種試験機、分析機器、FA機器の製造販売及び修理等計測のことならお任せください。単なるメーカー品の販売だけでなく、計測データをコンピュータで必要とするデータへの加工・システム化等、ご要望のあった商品を供給するコーディネータとしての仕事を通して、お客様のあらゆるニーズにお応えできるよう、日々努めています。

沿革：1972年（昭和47年9月）創立

1973年（昭和48年9月）創業

1991年（平成3年5月）計量器販売等事業登録（登録番号第627号：千葉県）

1997年（平成9年）中小企業創造活動促進法認定事業所

2000年（平成12年）資本金2000万円に増資

2001年（平成13年12月）計量証明事業登録（音圧レベル登録番号第663号、振動加速度レベル登録番号第664号：千葉県）

今後の取り組み：騒音・振動に関する計量証明事業者としての技術力を基礎的なものの一つとして、計測機器等販売にも更に技術力を生かしていきたい。

千環協活動での抱負：各種の必要とする研修会に参加し、計量に関する技術の向上、社会的責任の研鑽に役立てていきたい。皆様のご指導・お引き立ての程、宜しく申し上げます。

3-2. 株式会社 日鐵テクノリサーチ

山本 満 治
佐藤 公 隆

この度、千環協に新規入会致しました(株)日鐵テクノリサーチ (NSTR) でございます。私ども2名が千環協の弊社窓口を担当させていただきます。右も左もよくわかりませんが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

〈NSTRの沿革と概要〉

NSTRは、1985(昭和60)年に新日本製鐵(株)の研究開発部門から分社して設立された「試験研究・技術サービスの専門会社」です。現在は450名に及ぶ豊富な経験と高度な専門技術を有する技術者・研究者を擁して、お客様の広範囲な技術分野のニーズにお応えしております。

NSTRは、また環境測定・分析を含めて、材料やプロセス、製品評価、試作評価などあらゆる技術分野で、お客様の「プライベート・ラボ」としてご利用いただけるように常に心掛けております。弊社の輪郭はつぎのとおりです。

- ◆資本金：2億5,000万円
- ◆代表者：代表取締役社長 加藤 忠一
- ◆本社所在地：〒213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1〔かながわサイエンスパークA101〕
- ◆営業所・事業所所在地
 - ※ 営業所：本社(神奈川) 営業〔TEL(044)814-3460〕、※かずさ営業〔千葉県富津市；TEL(0439)80-2691〕、※つくば営業〔TEL(0297)60-8053〕、※大阪営業〔TEL(06)6223-0241〕、宇都宮営業〔TEL(028)651-2571〕
 - ※ 事業所：神奈川事業所〔本社に同じ〕、かずさ事業所〔千葉県富津市〕、関西事業所〔大阪府堺市〕、君津事業所〔千葉県君津市〕
 - ※ 分室：八幡〔福岡県北九州市〕、室蘭〔北海道室蘭市〕、光〔山口県光市〕、名古屋〔愛知県東海市〕、大分〔大分県大分市〕
- ◆従業員：約450名

〈NSTRの業務内容〉

NSTRにおける「事業の全体イメージ」は、添付の図面をご覧ください。お客様がお困りになっている技術的問題は何でもご相談に乗り、お引受けさせていただくことをモットーとしております。

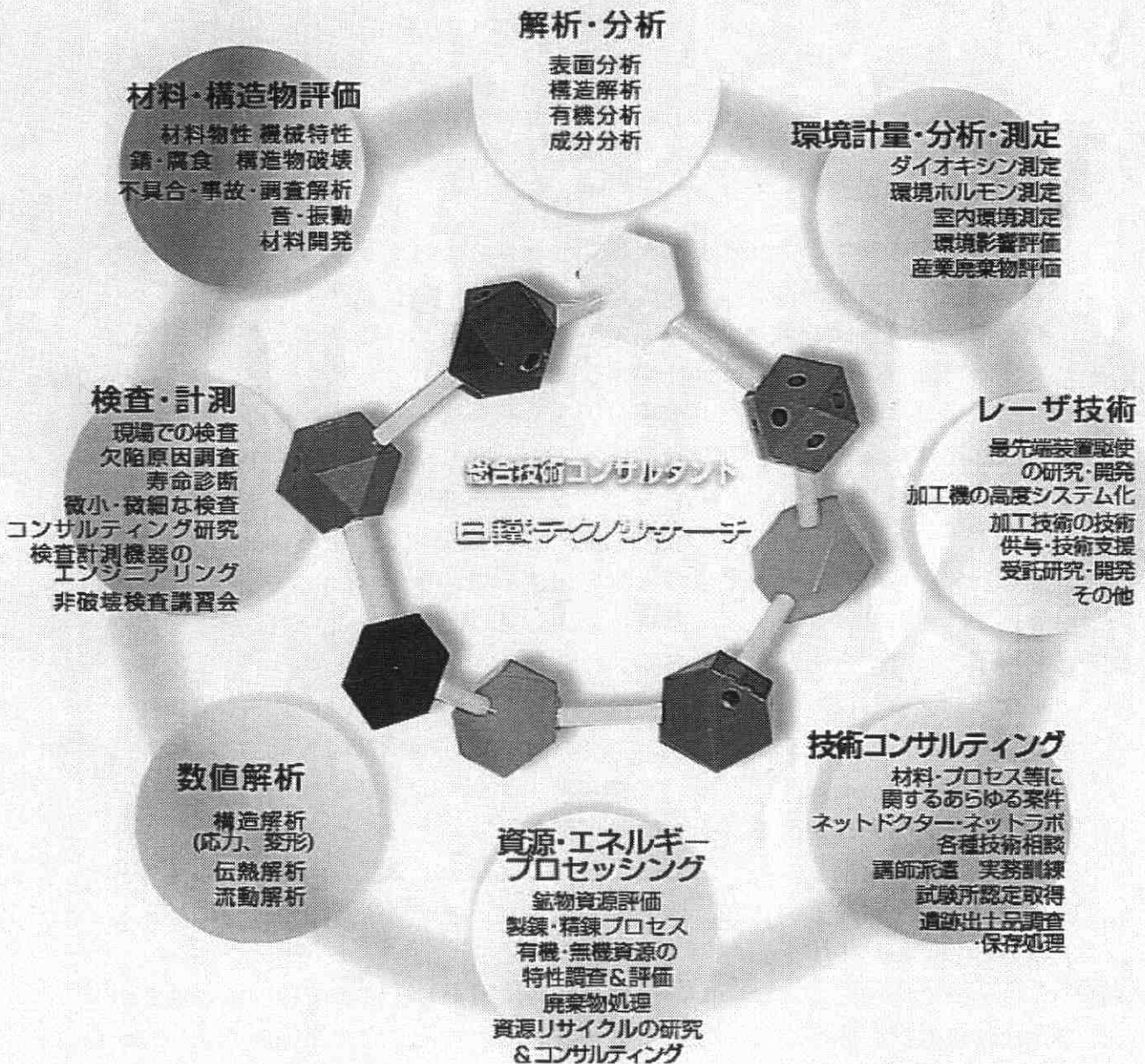
NSTRは、環境技術分野においても、ダイオキシン類、環境ホルモン類の分析、シックハウス症候群関連物質や有害金属の分析、振動・騒音の測定は勿論のこと、関連する国家プロジェクトなどにも積極的に参画して、新しい技術の取得への挑戦を続けております。すでに『ダイオキシン類の高感度迅速分析法としての Jet-REMPI(supersonic jet-resonance enhanced multi-photon ionization; 超高速分子ジェット共鳴多光子吸収イオン化)法』や『薬剤による飛灰・土壌中のダイオキシン類の無害化処理』などに実績を持っております。さらに、現在『リサイクル吸音パネルの開発』、『医療廃棄物処理炉の開発』、『土壌汚染改善のための無酸素熱分離分解法』などにも取り組んでおります。

〈連絡先〉山本(満)〔TEL(0439)80-2692〕

佐藤(公)〔TEL(0439)80-2691, (044)814-3460〕

Human Eyes & Scientific Power

ヒトの視点と科学の視力 ナノテク技術の最先端を歩む
目録テクノリサーチはあなたのラボです。



3-3. 株式会社 コスモス

千葉支店

北村 和子



今年度入会させていただきました株式会社コスモス千葉支店です。いろいろとお世話になりますが、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

弊社は、会員皆様の事業を人材面でお手伝いさせていただきます人材派遣会社で、人材派遣の他、人材紹介、業務受託の事業を行っております。

人材派遣は、研究開発部門（環境分析・食品分析・薬品分析等）、オフィス部門（総務事務・営業事務・経理事務等）、オペレーション部門（PC オペレーション・CAD オペレーション等）、コンピューター部門（OA インストラクター・PG・SE 等）、テクニカル部門（翻訳・通訳等）、販売営業サービス部門（販売・営業等）等あらゆる業種へ多数の人材を派遣しております。

弊社では、お客様のニーズに柔軟に応えられるよう、スキル、経歴、適性などあらゆる角度から人選したスタッフを多数そろえております。

また、スタッフは即戦力性だけではなくビジネスの場でのマナーや協調性を大切に、実力とマナーをバランスよく備え企業に貢献するというプロ意識が、多くのお客様から高い評価を頂いております。

特に、研究開発部門に重点をおいて事業を展開しており、営業グループに研究開発担当社員を配置して、お客様からのご要望を十分にお伺いしたうえでスタッフを人選・派遣し、また、派遣後のフォローアップを行いご期待に添えるよう努力しております。

入会を機に環境問題についての知識をさらに習得し、会員皆様のあらゆる戦力となれる人材を派遣させていただき、少しでもお役に立ちたいと頑張りますのでよろしくお願い致します。

4. 平成14年度 合同委員会（平成14年5月15日）

4-1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



只今、ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。よろしくお願いいたします。

千環協の本年度の実質的なスタートとなります、本合同委員会の開催に当り一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、後ほどご来賓として、千葉県計量検定所より山田指導課長様、石渡様にもご出席いただく予定となっております。

さて、4月の通常総会におきまして、私を含め4名の理事が就任し、当協会もまさに新しいスタートを切ったばかりでございます。総会に出席されなかった会員の方々には、新役員一同改めまして、今後の協会活動により以上にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

本日これより開催されます合同委員会は、千環協の活動のもっともベースとなる各委員会、WGの1年間の活動計画について審議いただく、大変重要な会議でございます。各委員長、WGのリーダーの方には何かとご苦勞をおかけいたしますが、総会にて承認されました事業計画を基に、お集まりいただいた各会員の方々とも十分に議論を尽くしていただき、より充実した今年度の計画を立てていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

以上甚だ簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

4-2.来賓挨拶

千葉県商工労働部
計量検定所
指導課長 山田 保



千葉県環境計量協会の皆様におかれましては、日頃から本県の計量行政の推進にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本県では昨年末に策定した「ちば2002年アクションプラン」を4月からスタートさせ、経済的にも文化的にも自立した「千葉主催」の確立を目指して努力することとしています。

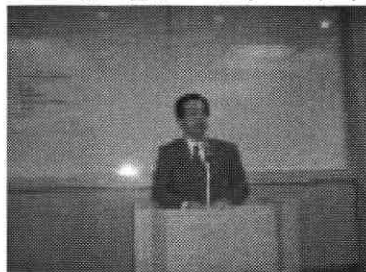
また、計量制度では極微量物質いわゆるダイキソ類関係の法改正が昨年6月にあり、本年4月から施行となりました。それから約1ヶ月半が経過したところですが、それに伴う濃度、音圧レベル、振動加速度レベルに係る計量証明事業の事業規程変更届を事業者を割り振って届出を予定したところ、4月中にはほぼ全事業者の届出が終了したところです。

皆様にはこれらへの対応をはじめ、各般にわたって計量行政へ御尽力いただき、私どもの業務が支障なく実施できていますことは貴協会会員皆様のご協力によるものと感謝しております。

最後に本日の合同委員会が有意義に終了するとともに、千葉県環境計量協会のますますのご発展と会員皆様の御繁栄と御健勝を祈念申し上げましてご挨拶いたします。

4-3.通達事項 ー平成14年度計量証明検査結果についてー

千葉県商工労働部
計量検定所
指導課 石渡 康幸



平成14年度の計量証明検査は4月15日～17日の3日間で行い、精密騒音計、普通騒音計及びガラス電極式水素イオン濃度指示計（pH計）について実施した。

検査結果は次のとおりである。

種 類	検査事業所数	検査器数	不合格数
精 密 騒 音 計	19	41	0
普 通 騒 音 計	18	66	1
ガラス電極式水素イオン 濃度指示計（pH計）	74	99	0
合 計	111	206	1

なお、平成15年度の計量証明検査は、大気濃度計について行ないます。例年どおり事前に文書で通知しますのでよろしくお願い致します。

4-4. 担当委員一覧及び委員会別活動計画

1. 総務委員会

	氏名	事業所名
委員長	石澤 善博	日本軽金属㈱
委員	川口 弘樹	中外テクノス㈱
〃	山本 重俊	㈱環境管理センター
〃	守 久雄	環境エンジニアリング㈱
〃	宮本 敦夫	日本環境㈱
〃	伊藤 裕一	㈱ダイワ

予定月日	活動名	活動内容
5月24日	第35回ゴルフコンパ	ニュー南総ゴルフ倶楽部, 優勝: ㈱ダイワ 宮澤氏
11月17日	第20回ソフトボール大会	川崎製鉄㈱ 健保グラウンド
10月～11月	第36回ゴルフコンパ	
1月下旬	第21回新春講演会	

2. 業務委員会

	氏名	事業所名
委員長	飯島 公勇 (※)	キッコーマン㈱
委員	山田 幸男	㈱日本公害管理センター
〃	斉藤 充	日本廃水技研㈱
〃	鈴木 信久	中外テクノス㈱

予定月日	活動名	活動内容
5月15日	平成14年度合同委員会	
5～6月	千環協ガイド発行	会員名簿確認
7～8月		原稿作成・配送先確認
9月		校正・印刷・製本
10月		千環協ガイド発送

(※): 業務委員長にあつては、5月15日の理事会により川村氏より飯島氏に変更。

3. 企画委員会

	氏名	事業所名
委員長	内野 洋之	㈱新日化環境エンジニアリング
委員	飯塚 嘉久	(有)ユーベック
〃	永田 耕一	㈱環境管理センター

予定月日	活動名	活動内容
7月上～中旬	研修見学会	後日検討
11月	PD&技術講演会	PD: クロスチェック結果について 技術講演会: 委員会にて決定

4. 広報委員会

	氏名	事業所名
委員長	田中 孝一	㈱環境管理センター
委員	吉野 昭仁	習和産業㈱
〃	伊藤 浩征	㈱住化分析センター
〃	初瀬川 弘美	㈱東海地質
〃	結城 清崇	ヨシザワ㈱
〃	太鼓地 洋昭	イカリ消毒㈱
〃	斉藤 健	中外テクノス㈱
〃	安村 弘人	ニッカウキスキー㈱

予定月日	活動名	活動内容
6月中旬	第1回編集会議	掲載記事の計画
7月中旬	第2回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
7月下旬	会誌発行	No.64 印刷・発行
10月上旬	第3回編集会議	掲載記事の計画
11月中旬	第4回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
12月下旬	会誌発行	No.65 印刷・発行
1月上旬	第5回編集会議	掲載記事の計画
2月中旬	第6回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
3月下旬	会誌発行	No.66 印刷・発行
千環協ニュース発行部数 各号 336部		

5. 技術委員会

	氏名	事業所名
委員長	蛭子 聡	㈱住化分析センター

5-1. 精度管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	松尾 肇	㈱環境管理センター
委員	永友 康浩	㈱環境コントロールセンター
〃	浜田 康雄	㈱上総環境調査センター
〃	大塚 敬嗣	㈱新日化環境エンジニアリング
〃	松尾 真路	㈱環境測定センター
〃	野口 康成	㈱太平洋コンサルタント

予定月日	活動名	活動内容
平成14年度活動テーマ：「精度管理統一化の推進」 平成14年度の活動内容：「具体的精度管理手法（その1）要員/技術者の認定」		
6月中旬	第1回WG	実施要領の決定，作業分担の決定，アンケート配布
8月中旬	第2回WG	アンケート結果まとめ
9月中旬	第3回WG	報告書の原案作成，打ち合わせ
10月上旬	第4回WG	報告書承認，発表会準備
11月8日	WG成果発表会	調査結果の発表

5-2.計量管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	岡野 隆志	川鉄テクノリサーチ(株)
委員	阿部 竜也	浅野工事(株)
〃	佐々木 昭平	(株)杉田製線
〃	酒井 裕介	日建環境テクノス(株)
〃	木寺 弘親	出光興産(株)
〃	荒木 徹	セイコーアイ・テクノリサーチ(株)

予定月日	活動名	活動内容
平成14年度活動テーマ：「作業環境等、日常作業における問題点」		
第1回 W G		アンケート原案作成
第2回 W G		結果検討
事業所見学		
第3回 W G		発表結果まとめ
11月8日	成果発表会	発表

5-3.クロスチェックワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	田中 裕治	中外テクノス(株)
委員	白須 研一	(株)クリタス
〃	菅野 一也	(株)住化分析センター
〃	片岡 正治	日立プラント建設サービス(株)
〃	大野 節夫	日廣産業(株)

予定月日	活動名	活動内容
平成14年度活動テーマ：「水溶液中のフッ素」についてクロスチェックを行う。		
6月中旬	第1回WG	クロスチェック実施案内
7月中旬	第2回WG	試料発送
8月中旬	第3回WG	測定結果収集
10月末	第4回WG	測定結果解析・報告書
11月8日	成果発表会	発表

6. 経営問題懇談会 調査開発ワーキンググループ

	氏名	事業所名
委員長	菅谷 光夫	(株)ダイワ
教育WGリーダー	岡野 隆志	川鉄テクノリサーチ(株)
調査開発WGリーダー	渡辺 勝明	住友金属鉱山(株)
委員	津上 昌平	習和産業(株)
〃	川岸 決男	(株)東京化学分析センター
〃	松倉 達夫	(株)日本公害管理センター

予定月日	活動名	活動内容
7月3日	新任者研修	講師(予定)：北村氏(日環協)，岡崎氏(日環協)，岡野氏(川鉄テクノリサーチ(株))
9月下旬	施設見学	企画委員会の研修見学会と調整のうえ決定

5. 理事会報告

第 146 回

日 時：平成 14 年 5 月 22 日 10:00～12:00

場 所：プラザ菜の花

出席者：津上会長，菅谷副会長，藤谷副会長，石澤理事，飯島理事，内野理事，蛭子理事，田中理事，神野氏

1. 特別議案

川村敏（キッコーマン(株)）の退任に伴い、後任理事（業務委員長）を飯島公勇氏（キッコーマン(株)）とすることを理事会一致で承認。

2. 報告事項

2-1. 第 1 回 首都圏環境協議会連絡会(平成 14 年 4 月 16 日 ワークスサポートセンター)

出席者：菅谷，藤谷，田中

(1) 各県単報告

第 147 回

日 時：平成 14 年 7 月 19 日 16:00～18:00

場 所：かめや

出席者：津上会長，菅谷副会長，藤谷副会長，石澤理事，飯島理事，内野理事，蛭子理事，田中理事

1. 報告事項

1-1. 日環協 関東支部定例役員会（平成 14 年 5 月 28 日）

出席者：津上

(1) 平成 13 年度事業報告及び平成 14 年度事業計画説明

(2) 新任者教育，技術者基礎教育の件

(3) 環境セミナーの件

1-2. 千葉県計量協会 理事会 通常総会（平成 14 年 6 月 18 日）

出席者：津上，菅谷，藤谷

(1) 平成 13 年度事業報告及び平成 14 年度事業計画承認

1-3. 第 2 回 首都圏環境協議会連絡会(平成 14 年 6 月 14 日 ワークスサポートセンター)

出席者：津上，菅谷，藤谷，田中

(1) 各県単報告

6. 第35回 千環協ゴルフコンペ

伝統ある千環協コンペ、35回目の今回は5月24日、名門コース：ニュー南総ゴルフ倶楽部にて開催されました。県単活動の活発化に比例してか（?）、他県単からもご参加頂き、今回は、日環協から岡崎氏、東環協から宇都宮氏にもご参加頂き、総勢17名が五月晴れの絶好のゴルフ日和のなか、スタート致しました。

栄えある優勝杯は、神野さん（株住化分析センター）との接戦の末、宮沢さん（株ダイワ）が手中に収めました。

Rank	Name	Out	In	Gross	Hcp	Net
優勝	宮沢 康弘（株ダイワ）	43	42	85	10.8	74.2
準優勝	神野 基行（株住化分析センター）	43	48	91	16.8	74.2
3位	石澤 善博（日本軽金属株）	48	44	92	16.8	75.2
4位	宮本 敦夫（日本環境株）	44	43	87	10.8	76.2
5位	大倉 保美（東電環境エンジニアリング株）	52	48	100	20.4	79.6
	菅谷 光夫（株ダイワ）	53	47	100	20.4	79.6



驚きの優勝？

(株) ダイワ 千葉支店
宮沢 康弘



新緑がまばゆい五月晴れの最高のゴルフ日和に、第35回千葉県環境計量協会ゴルフコンペに参加させて頂き、優勝という栄誉を賜りありがとうございました。

本コンペには10年余の無沙汰で、参加がはばかれたのですが弊社が幹事の任にあったため、枯れ木も山の賑わいとの思いで参加させて頂き、図らずも優勝という結果に驚きました。

ゴルフの腕前は「球に聞いてください」程度のものですが、当日は運と同伴競技者の方に恵まれ、素直な打球が続き好スコアになりました。それとイタリアンの美しいキャディさんに叱咤激励されたことも要因と思われます。

次回は幹事として参加させて頂くことになり、(株)環境管理センターの田中さんと幹事を勤めさせていただきますので、皆様多数のご参加をお願い致します。日程はまだ未定ですが、11月頃を予定しております。

7. 平成 14 年度 研修見学会

株式会社 東海地質
初瀬川 弘美



当日は朝早くからの集合で参加されました皆さんの心掛けが良いせいでしょうか？心配していた台風も追い飛ばし、まるで梅雨が明けたのか真夏のような蒸し暑い天気の中での研修見学会が7月12日に行われました。

バスで片道約3時間ひたすら北へ向かい行き着いたところは今回目的であります研修場所の茨城県ひたちなか市にあります株式会社日立ハイテクノロジー那珂事業所様に到着しました。こちらは（習和産業株式会社）津上会長の御好意により、日立グループ内と言うことで、無理をお願いして見学させて頂きました。こちらでは主として環境計量に最も大切な、分析機器を設計開発から品質保証に至るまで、そして手作業の組立も含めすべて実際に作っているところ です。

特に分析機器の中でも『環境』だけでなく、人々の健康に対する分野の『医療』『食品』までトータルでソリューションする、まさに環境を化学する総合的な企業です。

最初に業務内容のビデオを拝見させて頂き早速2グループに分けての工場ラインを案内して頂きました。団体で移動しながらの説明は聞き取れないかと？日立様の御配慮で全員にイヤホンまで貸して頂き御陰様でスムーズに見学出来ました。流石、日立の方々には人間の気持ちも計れるとは皆さんの心の中には素晴らしい分析機器をお持ちのようで・・・？！

早速見学してみると驚いたことに工場の廊下には無人の自走車が当たり前のように走るのを感じてみていた私は、ふと我が家にも是非一台欲しい！なんて思ったのは私だけではないはずですが・・・！

しかし自走車が見慣れてきたころ、人がコンテナを押していた姿になんとかホッと安心した場面もありました。

計量といっても環境分析はgやkgの世界と大きく違いmgから今ではng（ナノグラム）と言った目に見えない極微量の世界を計測までするのですから一般的には到底想像しきれない単位になるのです。

科学の進歩により大抵の物が造れる時代になり、このように偉大な技術力や開発力と、丹精込めた手作業を含めて一つの分析機器が出来上がる工程は、まさに人間と機械の共生を見せて頂きました。日立の皆様の心意気に最後まで雰囲気の良い研修見学会となりました。

このように那珂事業所の皆様には色々と御心遣い頂き、全てにおいて学ぶことが多く充実した研修会でした。お忙しい中を大変お世話になりました。

あっという間にお昼の時間になりバスで30分位のところにあります有名な那珂湊漁港にて漁港を眺めながら新鮮な魚介類をご馳走になりました。流石に捕れたての刺身の盛り合わせからお寿司に至まで、あのボリュームと鮮度の良さ、そして多少の御酒も入り皆さん御満悦だったかと思えます。食後は漁港からすぐのところにあります大洗マリパークに立ち寄り、中で自由行動となりました。全館改装後でとてもきれいな水族館で家族連れで1日楽しめそうな程の充実した規模でした。台風の後でまだ海は、茶色に濁って風も強かったのですがガラス越しに見える海のお魚さん達は気持ち良さそうに泳いでいました。

期待していました『イルカショー』は生憎満席でがっかりした方も多かったと思えます。

私がなんと言っても印象に残ったことは、海岸沿いにペンギンが居るとの情報に釣られ早速見に行くと、全てのペンギンさん達がボーッと突っ立ったまま遠くのほうを見つめているではありませんか？すごく不思議な光景に一瞬、何故か理解できずにその様子を少し観察して見ていたら、やっと解って着ました。最初は陶器の置物かと思うくらいじっとして、とても生きているようには見えなかったのですが、流石にこの炎天下の中、ペンギンさん達もあの暑さにまだ慣れていない為、耐えられなかったのでしょうか!!

その光景に散々笑って居ましたが、後から冷静に考えると逆にペンギンさん達も我々を見てなんて間抜けな人間達だと思っているに違いありません。どこで誰（動物含め）に見られているか分かりませんから・・・気をつけましょう!!

氷の差し入れをして上げたいほど気の毒で、滑稽な場面でした。

僅かな時間の見学コースでしたが、そろそろ千葉に帰る時間となりバスで千葉に向うこと約2時間、渋滞もなく帰りのバスでは皆さん和んできたのか？カラオケも始まりだんだん盛り上がったところで無事到着しました。

今回の研修見学会を担当されました企画委員会の皆様大変お疲れ様でした。

まだ気が早い話ですが、今から来年の研修会も期待しております。

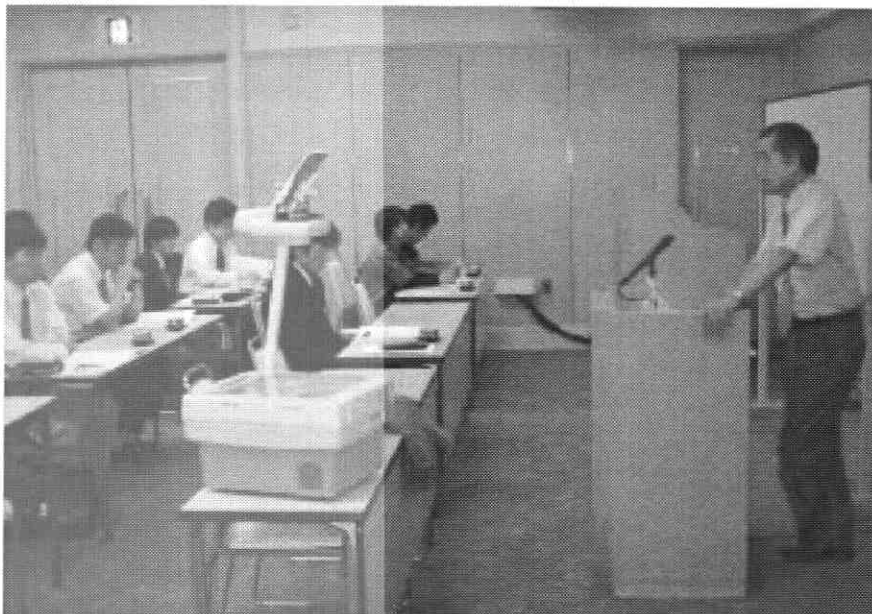


8. 平成 14 年度 新任者教育講座

平成 14 年 7 月 3 日、日環協との共催で下記内容の新任者教育講座が開催されました。

- ① 環境計量の仕事とは ((社)日本環境測定分析協会：北村 哲 氏)
- ② 安全・衛生 (同上)
- ③ 正しい測定のために (川鉄テクノリサーチ(株) : 岡野 隆志氏)

No.	氏 名	事業所名	No.	氏 名	事業所名
1	秋葉 英雄	(株)上総環境調査センター	11	渡邊 みどり	(財)千葉県環境技術センター
2	大友 厚志		12	泉 篤志	中外テクノス(株)
3	新里 さやか		13	林 祐介	
4	立野 彰子		14	初瀬川 弘美	(株)東海地質
5	島瀬 正博	環境エンジニアリング(株)	15	積田 久美	(株)東京化学分析センター
6	加藤 礼明	(株)環境管理センター	16	青木 慎吾	(株)永山環境科学研究所
7	管野 智子		17	西脇 麻衣	
8	野田 典広	基礎地盤コンサルタンツ(株)	18	大平 義途	(株)三井化学分析センター
9	猪原 洋暁	(株)三造試験センター	19	羽田 哲也	ライト工業(株)
10	池内 研二	住友金属鉱山(株)	20	小林 一行	(有)ユーバック



熱心に講習をうける新任者

平成 14 年度新任者教育講座を終えて

株式会社 環境管理センター
東関東支社 加藤 礼明



入社以来、私達新入社員は東京本社で3ヶ月の新人研修を受け、7月から千葉市の東関東支社に配属となりました。いよいよ本格的に業務に携わるということで私は少なからず緊張と不安を抱えていましたが、今回の講座を受けたことにより、このマイナスな心境にワンクッションおくことができたと同時に、環境計量事業に従事する者としての自覚をより一層感じることができました。

本講座にて受講した内容は、環境計量の経緯や使用器具の特徴など初めて学んだ部分も多く、自分の生業に対する理解が一層広がりました。また弊社の新人研修では分析研修が入社間も無い4月に行われたため、あいだを置いたこの時期に分析のイロハ及び注意点を再確認できたのは非常に効果的であったと思います。私は本講座が初めての外部研修であったため、社外の空気を感じ取れたのも良い刺激になりました。

本講座で得たことを忘れずに、今後も日々の業務に精進していきます。そして何よりも我々の仕事の先には常に顧客が存在していることを自覚し、丁寧な作業を心がけて臨みます。

最後に、本講座における関係者や講師の方々に心より感謝申し上げます。

9. 土壤汚染対策法が公布

習和産業 株式会社

吉野 昭仁



近年、有害物質による土壤汚染事例の判明件数の増加が著しく、土壤汚染による健康影響の懸念や対策の確立への社会的要請が強まっている状況を踏まえ、国民の安全と安心の確保を図るため、土壤汚染の状況の把握、土壤汚染による人の健康被害の防止に関する措置等の土壤汚染対策を実施することを内容とする「土壤汚染対策法」が、平成14年5月22日に成立し、29日に公布されました。

目 的

土壤汚染の状況の把握に関する措置及びその汚染による人の健康被害の防止に関する措置を定めること等により、土壤汚染対策の実施を図り、もって国民の健康を保護する。

概 要

1. 土壤汚染状況調査

- ・ 有害物質仕様特定施設の廃止時の調査義務
- ・ 土壤汚染により健康障害が生じる恐れのある場合の調査命令

2. 指定区域の指定・台帳の調整

- ・ 土壤汚染のある土地を指定区域として指定し、台帳に登録

3. 健康障害の防止命令

(1) 改善命令

都道府県知事は、指定区域内の土壤汚染により人の健康被害が生ずる恐れのあるときは、

(ア) 土地の所有者に対し、汚染除去等の措置を命令

(イ) 汚染原因者が判明する場合は、(ア)によらず、汚染原因者に命令

【措置の内容】立入制限、覆土、舗装、封じ込め、浄化等

※土地所有者等が措置を実施したときは、汚染原因者に費用を請求できる。

(2) 土地の形質変更届の届出等

- ・ 指定区域内の土地の形質変更の届出及び計画変更命令

4. 措置の支援

- ・ 土壤汚染対策の円滑な推進を図るため、汚染の除去等の措置を助成し、助言、普及啓発等を行う指定支援法人を指定し、基金を設置。

土壤汚染対策法の概要

- 対象物質(特定有害物質) : 汚染された土壤の直接摂取(摂食または皮膚接触)による健康影響
 - ・表層土壤中に高濃度の状態で長期間蓄積し得ると考えられる重金属等
- 地下水等の汚染を経由して生ずる健康影響
 - ・地下水等の摂取の観点から設定された土壤環境基準の溶出基準項目

○ 仕組み

調査

- ・水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設の使用の廃止時
- ・土壤汚染により、健康障害が生ずる恐れがあると認めるとき

↓

土地所有者等(所有者、管理者または占有者)

調査・報告

※指定調査機関(環境大臣が指定)が調査

↓

土壤の汚染状態が環境省令で定める基準に適合
(現行の土壤環境基準を想定)

→

非指定区域

する

↓

しない

指定及び公示

(台帳に記載)

指定区域

↓

都道府県が指定・公示するとともに、指定区域台帳に記載して公衆に閲覧

↓

↓

指定区域の管理

【汚染の除去等の措置】

- ・指定区域の土壤汚染による健康被害が生ずる恐れがあると認めるときは、都道府県が汚染原因者(汚染原因者が不明等の場合は土地所有者等)に対し、汚染の除去等の措置の実施を命令

【直接摂取によるリスク】

- ①立入制限 ②舗装 ③覆土
- ④封じ込め ⑤浄化

【地下水等の汚染経由のリスク】

- ①地下水のモニタリング
- ②封じ込め ③浄化

【土地の形質の変更の制限】

- ・指定区域において土地の形質変更をしようとする者は、都道府県に届出
- ・適切でない場合は、都道府県が計画の変更を命令

汚染の除去が行われた場合には、指定区域の指定を解除・公示

※土壤汚染対策の円滑な推進を図るため、汚染の除去等の措置を助成し、助言、啓発普及等を行う指定支援法人を指定し、基金を設置

10. 自然から見える環境について

イカリ消毒俵

萬代 裕介



昨今の環境ブームにより、各メディアでは毎日のように環境に関する話題が発信されています。そこで私も今回の「千環協ニュース」へ文章を書くにあたり、通常の実務から離れて少し違った視点で環境についてのレポートを試みようと思います。

現在、私が所属しております環境科学センターでは、環境計量を主体とした実務のほか、環境アセスメント法に伴う動植物の生息状況調査というものも行っております。この調査業務は、調査範囲となる計画地にどのような生物が生息しているか、調査地の利用頻度はどの程度なのかなどといった生息状況の把握を主な目的としています。

平成13年に環境アセスメント法が改正され、調査項目の中に「生態系」というものも含まれるようになりました。これは、複数種の生息確認は一つの情報として重要ではありますが、そうした様々な生物が生息環境のなかでどのようなつながりを保ちながら生息しているかということについても併せて考察していくものです。したがって自然環境における動植物調査の分野では、各生物の生態に対する知識をより深めていかなければならない状況となっております。

生物のつながりというものを考えていく上で、指標生物という考え方がとても重要な要素として挙げられることが多いようです。それは一般に、対象の環境に生息する生物から環境の汚染レベルを推測する際などに用いられるものですが、例えば、水田であればカエルとそれを捕食する鳥類や哺乳類との関係を明確にしていく事。また河川であれば、ホタルと捕食されるカワナおよび生息水域の水質との関係を明確にするといった利用もされています。計画予定地の生態系を知るということは、開発に伴う工事の影響や事後の状況予測として、様々な生物群の持続可能な生息環境を把握するためにもとても必要な情報とされています。

私がこのような業務に興味を抱くようになったのは、学生時代に取得した自然観察指導員という資格の影響です。自然観察指導員とは、名前の通り自然観察会の案内役ですが、主に小学生を対象として身近に自然を感じてもらおうという趣旨の観察会を企画しておりました。観察会の内容には、自然の中で子供が遊んで終わりというものも多くありましたが、環境汚染度の実験（簡単なものですが・・・）のようなものも行った記憶があります。例えば、と

でもきれいに見える川ととてもそうは思えない川の河川敷で見られる植物の種類を比較したり、海辺に落ちている貝殻を集めて比べてみたりなどです。単純にパックテストの COD 値を比べたこともあります。こうした実験による環境の豊かさ比べは、今後こうすべきであるという明確な答えを持って終了するわけではありませんでしたが、子供たちの目にも様々な要因からなる環境汚染が身近なところで生じているということを感じてもらえたように思います。また、自分自身にとっても環境のことを考える良い機会だったのでないかと感じています。温暖化等の地球的な環境汚染は今後の私たちの生活に欠かすことのできない重要な課題ではありますが、河川、水田、海域等の身近な環境においても私たちが子供のころに見ていた風景とはずいぶん変化しているようです。しかしながら、そうした変化に気がつく機会が減ってきているような気もしています。

環境に対する負荷を監視するという重要な役割を担った環境計量証明業に携わる人間として、変化に気がつけるよう広くアンテナを張っていきたいと思います。

会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌			
浅野工事 (株) 環境技術研究所 代表取締役社長 浅井 治	〒260-0001 千葉市中央区都町 1-49-2 Tel 043-234-8628 Fax 043-234-8629	阿部 竜也		○				
旭硝子 (株) 千葉工場 工場長 島崎重治郎	〒290-8566 市原市五井海岸 10 Tel 0436-23-3150 Fax 0436-23-3187	安全環境保安室 渋谷 英世	○	○	○			
アエスト環境 (株) 代表取締役 三澤 剛	〒270-2221 松戸市紙敷 1-30-2 Tel 047-389-6111 Fax 047-389-3366	鈴木まり子	○	○	○			
(株) 飯塚 環境技術研究所 代表取締役 飯塚 貴之	〒270-2221 松戸市紙敷 599 Tel 047-391-1156 Fax 047-391-0110	中尾 潤一	○	○	○	○	○	
イカリ消毒 (株) 技術研究所 代表取締役社長 黒澤 聰樹	〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町 579 Tel 043-264-0126 Fax 043-261-0791	太鼓地洋昭	○	○	○			
出光興産 (株) 中央研究所 所 長 竹内 尚武	〒299-0205 袖ヶ浦市上泉 1280 Tel 0438-75-2314 Fax 0438-75-7213	津村 修	○	○	○			
(株) 荏原製作所 薬品技術第一部 部 長 横田 則夫	〒299-0267 袖ヶ浦市中袖 35 Tel 0438-63-8700 Fax 0438-60-1171	主任 佐藤 克昭	○	○	○			
(株)上総環境調査センター 代表取締役 浜田 康雄	〒292-0834 木更津市潮見 4-16-2 Tel 0438-36-5001 Fax 0438-36-5073	業務課長 中山 徹	○	○	○	○	○	
川鉄テクノロジー(株) 分析・評価事業所 常務取締役 千葉事業所長 福田 文二郎	〒260-0835 千葉市中央区川崎町 1 Tel 043-262-4178 Fax 043-268-5495	営業企画部 岡野 隆志	○	○	○	○	○	監 事
(財)川村理化学研究所 理事長 前田 博	〒285-0078 佐倉市坂戸 631 Tel043-498-2111 (内線 2210) Fax 043-498-2229	分析研究室 松本 茂		○	○			
環境エンジニアリング(株) 取締役事業部長 重松 英男	〒292-0825 木更津市畑 沢 1-1-51 環境テクニセンター Tel 0438-36-5911 Fax 0438-36-5914	グループリーダー 川崎 孝則	○	○	○	○	○	
(株) 環境管理センター 東関東支社 執行役員支社長 保坂 頼紀	〒260-0833 千葉市中央区稲荷町 3-4-17 Tel 043-261-1100 Fax 043-265-2412	副支社長 田中 孝一	○	○	○	○	○	理 事 (広報)
(株) 環境コントロールセンター 代表取締役社長 松尾 大邑	〒260-0805 千葉市中央区宮崎町 231-14 Tel 043-265-2261 Fax 043-261-0402	環境部 原田 和幸 永友 康浩	○	○				

※：県外事業所登録

会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌			
(株) 環境測定センター 代表取締役社長 小野 博利	〒262-0023 千葉市花見川区検見川町 3-316-25 Tel 043-274-1031 Fax 043-274-1032	鈴木 健一	○	○	○			
キッコーマン (株) 分析センター 分析センター長 中野 衛一	〒278-0037 野田市野田 350 Tel 04-7123-5905 Fax 04-7123-5904	飯島 公勇	○	○	○	○	○	理 事 (業務)
基礎地盤コンサルタンツ (株) 代表取締役社長 森 研二	〒102-8220 東京都千代田区九段北 1-11-5 Tel 03-5276-6776 Fax 03-5210-9575	野田 典広		○	○			
(有) 君津清掃設備工業 濃度計量証明事業所 取締役社長 松尾 昭憲	〒299-0236 袖ヶ浦市横田 3954 Tel 0438-75-3194 Fax 0438-75-7029	嘉数 良規		○				
(株) クリタス 千葉県環境分析センター 環境分析部長 中川 二郎	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖 1 Tel 0438-62-5494 Fax 0438-62-5494	石川 秀	※	○	○	※	※	
京葉ガス (株) 技術部長 筒井 義憲	〒272-0033 市川市市川南 2-8-8 Tel 047-325-4500 Fax 047-326-1759	永塚 孝幸		○	○			
(有) ケーオエンジニアリング 代表取締役社長 小栗 勝	〒277-0827 柏市松葉町 2-11-11 Tel 04-7133-0142 Fax 04-7133-0131	小栗 勝	○	○				
(株) ケミコート 代表取締役社長 井坂 晃	〒279-0002 浦安市北栄 4-15-10 Tel 047-352-1137 Fax 047-352-2615	研究技術部 代田 和宏		○				
(株) 建設技術研究所 東京支店 水圏技術部 部 長 斎藤 廣	〒277-0843 柏市明原 1-2-6 Tel 04-7144-3106 Fax 04-7144-3107	主任技師 平田 治		○	○			
興亜開発 (株) 千葉営業所 代表取締役 新井 重春	〒260-0001 千葉市中央区都町 970-9 Tel 043-232-4891 Fax 043-232-7981	大武 隆博		○	○			
公害計器サービス (株) 代表取締役社長 佐藤 政敏	〒290-0042 市原市出津 7-8 Tel 0436-21-4871 Fax 0436-22-1617	代表取締役 佐藤 政敏	○	○				
(株) 三造試験センター 東部事業所 取締役所長 福壽 芳治	〒290-8601 市原市八幡海岸通 1 Tel 0436-43-8931 Fax 0436-41-1256	試験部長 高島 正温	○	○	○			
(株) C T I サイエンスシステム 開発事業部長 代表取締役社長 斎藤 秀晴	〒277-0843 柏市明原 1-2-6 Tel 04-7147-4830 Fax 04-7147-4891	渡辺 麻子		○	○			

※：県外事業所登録

会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌			
(株) ジオソフト 代表取締役社長 鈴木 民夫	〒261-0012 千葉市美浜区磯辺 1-2-11 Tel 043-270-1261 Fax 043-270-1815	代表取締役社長 鈴木 民夫				○	○	
習和産業 (株) 取締役社長 赤星 良治	〒275-0001 習志野市東習志野 7-1-1 Tel 047-477-5300 Fax 047-477-5324	企画営業本部 津上 昌平	○	○	○	○	○	会 長
昭和電工 (株) 千葉事業所 所 長 関 寛	〒290-0067 市原市八幡海岸通 3 Tel 0436-41-5111 Fax 0436-41-3972	品質保証課 課 長 井川 洋志	○	○	○			
(財)新東京国際空港振興協会 会 長 松井 和治	〒289-1601 山武郡芝山町香山新田字雨堤 76 番地 Tel 0479-78-2462 Fax 0479-78-2472	調査事業課 課 長 篠原 直明		○		○	○	
(株)新日化環境エンジニアリング 君津事業所 所 長 梶原 良史	〒292-0836 木更津市新港 15-1 Tel 0438-36-6040 Fax 0438-36-2901	分析営業室長 内野 洋之	○	○	○	※	※	理 事 (企画)
(株) 杉田製線 市川工場 代表取締役社長 杉田 光一	〒272-0002 市川市二俣新町 17 Tel 047-327-4517 Fax 047-328-6260	分析センター長 佐々木 昭平		○	○			
(株) 住化分析センター 千葉事業所 取締役所長 竹田 菊男	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖 9-1 Tel 0438-64-2281 Fax 0438-62-5089	千葉営業部 本吉 卓	○	○	○	※	※	理 事 (技術)
住鋳テクニサーチ (株) 東京事業所 所 長 三谷 広美	〒272-0835 市川市中国分 3-18-5 Tel 047-372-1110 Fax 047-371-3405	橋本 昭洋	※	○	○	※	※	
住友大阪セメント (株) セメントコンクリート研究所 環境技術センター 所 長 五十畑 達夫	〒274-0053 船橋市豊富町 585 Tel 047-457-0751 Fax 047-457-7871	所 長 五十畑 達夫		○	○	○		
住友金属鋳山 (株) 中央研究所 所 長 大久保 豊和	〒272-0835 市川市中国分 3-18-5 Tel 047-374-1191 Fax 047-375-0284	渡辺 勝明		○	○			
セイコーアイ・テクニサーチ (株) 代表取締役社長 安田 和久	〒270-2222 松戸市高塚新田 563 Tel 047-391-2298 Fax 047-392-3238	荒木 徹	○	○	○			
成和産業 (株) 代表取締役 入江 五左夫	〒260-0045 千葉市中央区弁天 4-5-18 Tel 043-254-2211 Fax 043-254-8429	大手 和夫				○	○	
(株)総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之	〒271-0067 松戸市樋野口 616 Tel 047-363-4985 Fax 047-363-4985	代表取締役 高野 俊之	○	○	○			

※：県外事業所登録

会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌			
(株) 太平洋コンサルタント 取締役研究センター長 丸田敏久	〒285-8655 佐倉市大作 2-4-2 Tel 043-498-3914 Fax 043-498-3919	長 浜 剛	○	○	○			
(株) ダイワ 千葉支店 取締役支店長 菅谷 光夫	〒283-0062 東金市家徳 238-3 Tel 0475-58-5221 Fax 0475-58-5415	営業課 宮澤 康弘	○	○	○	※	※	副会長
妙中鉱業 (株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治	〒297-0033 茂原市大芝 452 Tel 0475-24-0140 Fax 0475-23-6405	室 長 金井 弘和	○	○	○			
(財)千葉県環境技術センター 理事長 木内 政成	〒290-0045 市原市五井南海岸 3 Tel 0436-23-2618 Fax 0436-23-2619	森 尻 博		○	○			
(社)千葉県浄化槽協会 理事長 石川 長	〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-11-1 Tel 043-246-2355 Fax 043-248-6524	水質検査室長 鈴木 幸治		○				
中外テクノス (株) 環境技術センター 所 長 鈴木 紀雄	〒267-0056 千葉市緑区大野台 2-2-16 Tel 043-295-1101 Fax 043-295-1110	営業課 鈴木 信久	○	○	○	○	○	副会長
月島機械 (株) 代表取締役社長 田原 龍二	〒272-0127 市川市塩浜 1-12 Tel 047-359-1653 Fax 047-359-1663	試験課 須山 英敏	○	○	○			
東エン (株) 代表取締役社長 渡辺 孝雄	〒113-0034 東京都文京区湯島 3-1-3MHビル Tel 03-3834-7460 Fax 03-3834-7112	環境技術次長 鈴木 倫二	○	○	○	※	※	
(株) 東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 薫子	〒290-0044 市原市玉前西 2-1-52 Tel 0436-21-1441 Fax 0436-21-5999	技術営業部長 川岸 決男	○	○	○			
東京公害防止 (株) 代表取締役社長 小野 次男	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-8-12 Tel 03-3851-1923 Fax 03-3851-1931	代表取締役社長 小野 次男	○	○	○			
東電環境エンジニアリング(株) 環境技術センター 理事・所長 伊藤 金通	〒267-0056 千葉市緑区大野台 2-3-6 Tel 043-295-8405 Fax 043-295-8407	青木 一雄	○	○	○	○	○	
東洋テクノ (株) 環境分析センター 代表取締役社長 久保田 隆	〒289-1516 山武郡松尾町田越 328-1 Tel 0479-86-6636 Fax 0479-86-6624	代表取締役社長 久保田 隆	○	○	○			
(株)永山環境科学研究所 代表取締役社長 永山 瑞男	〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富 1-8-36 Tel 0474-45-7277 Fax 0474-45-7280	永山 貴生	○	○	○	○	○	

※：県外事業所登録

会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌			
ニッカウキスキー (株) 環境分析センター 分析センター所長 安村 弘人	〒277-0033 柏市増尾字松山 967 Tel 04-7172-5472 Fax 04-7175-0290	安村 弘人		○	○			
日建環境テクノス (株) 代表取締役 山田 勝芳	〒273-0045 船橋市山手 1-1-1 Tel 047-435-5051 Fax 047-435-5061	取締役 丸山 孝彦		○				監 事
日廣産業 (株) 環境技術センター 代表取締役 野々山剛史	〒260-0826 千葉市中央区新浜 1 番地 Tel 043-266-1221 Fax 043-262-1220	大野 節夫		○				
(株)日鐵テクノリサーチ かずさ事業所 代表取締役社長 加藤 忠一	〒293-001 富津市新富 20-1 新日本製鐵株式会社総合技術センター内 Tel 0439-80-2692 Fax 0439-80-2730	山本 満治						
日本環境 (株) 千葉支店 支店長 金子 正昭	〒272-0014 市川市田尻 3-4-1 Tel 047-370-2561 Fax 047-370-3050	宮本 敦夫	○	○	○	※	※	
日本軽金属 (株) 船橋分析センター センター長 坂巻 博	〒274-0071 船橋市習志野 4-12-2 Tel 0474-77-7646・3443 Fax 0474-78-2437	石澤 善博	○	○	○			理 事 (総務)
(株) 日本公害管理センター 千葉支店 支店長 松倉 達夫	〒286-0134 成田市東和田 348-1 Tel 0476-24-3438 Fax 0476-24-2096	山田 幸男	※	※	※	○	○	
(社)日本工業用水協会 水質分析センター 所長 川島 範男	〒272-0023 市川市南八幡 2-23-1 Tel 047-378-4560 Fax 047-378-4573	副所長 大塚 弘之		○	○			
日本廃水技研 (株) 千葉支店 代表取締役社長 荒西寿美男	〒272-0143 市川市相之川 2-1-21 Tel 047-358-6016 Fax 047-357-6936	佐藤満由美		○	○			
(財)日本品質保証機構 環境計画センター千葉分析試験所 所長 横地 哲明	〒260-0023 千葉市中央区出州港 14-12 Tel 043-247-5160 Fax 043-247-5149	下野 寿夫	○	○	○	※	※	
(財)日本分析センター 会長 平尾 泰男	〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 295-3 Tel 043-423-5325 Fax 043-423-5372	津田 義裕	○	○	○			
日立アクト建設サービス(株) 環境技術センター センター長 加藤 浩二	〒271-0064 松戸市上本郷 537 Tel 047-365-3840 Fax 047-367-6921	副技師長 片岡 正治		○	○	○	○	

※：県外事業所登録

会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備 考
			濃 度			音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌			
(株)三井化学分析センター 市原分析部長 堀内 正人	〒299-0108 市原市千種海岸 3 Tel 0436-62-9490 Fax 0436-62-8294	市原分析部 安村 則美	○	○	○			
(株)三井化学分析センター 茂原分析グループリーダー 稲毛 育夫	〒297-8666 茂原市東郷 1900 Tel 0475-23-8418 Fax 0475-23-8418	松崎 勝雄	○	○	○			
(有) ユーベック 代表取締役社長 飯塚 嘉久	〒292-0004 木更津市久津間 613 Tel 0438-41-7878 Fax 0438-41-7878	代表取締役社長 飯塚 嘉久	○	○	○			
ヨシザワ (株) 柏研究所 代表取締役社長 原 功	〒277-0804 柏市新十倉二 17-1 Tel 04-7131-4122 Fax 04-7131-4124	結城 清崇		○	○			
ライト工業 (株) 技術研究所 所 長 神澤千代志	〒274-0071 船橋市習志野 4-15-6 Tel 047-464-3611 Fax 047-464-3613	飯尾 正俊		○	○			

[賛助会員]

(株) コスモス 千葉支店 支店長 楡井 正	〒260-0028 千葉市中央区新町 18-14 千葉新町ビル 7F Tel 043-248-2391 Fax 043-248-2071	北村 和子					
(株) 東海地質 代表取締役 初瀬川重雄	〒264-0025 千葉市若葉区都賀 2-3-7 Tel 043-234-3611 Fax 043-234-3612	初瀬川弘美					
東京テクニカル・サービス (株) 東京支店・分析センター 代表取締役 吉池 詠	〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 6-7-6 Tel 03-3688-3284 Fax 03-3877-5388	農作清次朗	※	※	※	※	※

※ : 県外事業所登録

会員名簿の記載事項に変更がございましたら、都度、下記書式にて、千環協事務局宛ファックス願います。

Fax通信

Fax:043-265-2412

千環協:事務局御中

(株)環境管理センター 東関東支社内)

会員名簿記載事項変更連絡

会員名：

担当者：

今般、記載事項に変更がありましたので下記の通り連絡致します。

変更実施		年 月 日より	
項	目	変更 (変更項目のみ記載で可)	備考
会員名	社名		
	代表者		
連絡場所	住所		
	TEL		
	FAX		
連絡担当者			
事業区分			

※ 備考：備考欄には、差し支えない範囲内で変更事由を記載下さい。

〔事務局処理〕

受付日	年 月 日	受付No.	
FAX 連絡	会 長 宛	理事会への報告：	年 月 予定
	広報委員長宛	ニュース	年 月 (No. 号) 変更予定

－ 編 集 後 記 －

暑中お見舞い申し上げます。

今年は7月から数回台風の上陸があり、また、例年以上に暑い日々が続いております。皆様、いかがお過ごしでしょうか？千環協ニュース64号をお届け致します。

今号は今年初めての千環協ニュースにあたり、また、夏の発行と言う事もあり、新年に行なった第26回通常総会から、毎年恒例の研修見学会までの内容となっています。

また、今回の特集で組みました“土壌汚染対策法”など、環境計量に係る情報も盛り込んでおり、充実した内容になっているのではと思っております。ゴルフコンペや研修見学会、新任者教育講座等の活動レポートは毎年恒例の行事とは言え、レポートを書いている方々は毎回違うので、読み手としても新鮮な気持ちで読む事ができるのではないのでしょうか。

今回よりこの編集後記は広報委員会の委員が持ち回りで担当する事になり、今後は個性あふれる内容に仕上がっていくと思えます。今後も引き続き、担当理事をはじめ、会員の皆様方にはより深い御協力、御理解をお願い申し上げます。

(執筆担当 齊藤)

広報委員長
委員

田中 孝一

(株)環境管理センター

吉野 昭仁

習和産業(株)

結城 清崇

ヨシザワ(株)

齊藤 健

中外テクノス(株)

太鼓地 洋昭

イカリ消毒(株)

安村 弘人

ニッカウキスキー(株)

伊藤 浩征

(株)住化分析センター

初瀬川 弘美

(株)東海地質

千環協ニュース第64号

平成14年7月31日

発行 千葉県環境計量協会

〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-4-17番地

(株)環境管理センター内

TEL (043)261-1100

印刷 有限会社 千葉写真商会

〒260-0842 千葉市中央区南町3-12-7

TEL (043)265-1955

Fax (043)263-4323

